



オリブ通信

2013年11月号
2013.11.9発行
第145号

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu>



新シリーズ

教えることって???



みなさん、こんにちは。大変ご無沙汰しております。オリブ通信のガイド記事を書かせていただきました maki です。この度、オリブ通信に再登場させていただくことになりました。今回の記事では「教えることってなんだろう…」という視点から書かせていただこうと思います。どうぞ、お付き合いいただければ嬉しいです。
(賛助会員 平岡満喜)

実は、ワタクシの本業は、語学スクールの英語講師です。

まだまだかけだしの講師ですし、失敗だらけで、いろいろと迷惑をかけてしまうこともたくさんあります。

しかし、講師の仕事を通して、教えることの大切さ、感動したこと嬉しかったこと、学んだことがあります。

教えることは、教える時間帯だけが仕事ではありません。それ以外に、教えるための予習、次のレッスン内容を考える時間、その準備。また自らのスキルアップ時間。たった、40分なり50分のレッスンをするためだけに費やす時間はいくらあっても足りないほどです。

ですから、「教える」ことを考えるとき、オリブの先生方を思うのです。本当に素晴らしいことをされている…と心から思います。みなさん、ご自分のお仕事をされている中で週末の土曜日に大切な時間を使って日本語を教えに来られるのですから。本当に尊敬します。

このオリブが 20 年活動されているのもその先生方の熱心さや、その学びについてくる生徒さん、講師や生徒を支えるスタッフのサポートがあるからなのだ…と本当に思います。すごいことだなと感じます。これからもオリブの活動を心から応援しています。

このようところで、リニューアル記事の第1回目を書かせていただきました。ありがとうございました。

今後ともどうぞよろしく願いいたします！！

maki



中川先生のへんてこ日本語

④0

よろしかったら・・・

新幹線で隣に座った若い女性から、「よろしかったらカーテン閉めていただけませんか」と言われた。特に開けておかなければならない理由もないので、「はい」と言っただけでカーテンを閉めたが、なんだかしっくり来ない感じがした。ご本人は最大の気遣いを示しているのだろうか。

こんな言い方をよく耳にする。「よろしかったらご試着ください」「よろしかったらお取りしましょうか」など、接客場面での許可与え/求め表現である。ひょっとしてその女性も接客業をしているのかとも考えた。

日本人学生が、「よろしかったら見ていただけませんか」と言っただけでレポートを持って来た。学生のことだからアルバイト用語を教室に持ち込んでいたのだろうかと思った。

人をお願いをしたり、依頼を断ったり、誉めたりするときどんな表現を用いれば人間関係を円滑に展開できるか、そんな研究分野を語用論と言う。先のカーテンを閉めてほしいと依頼する場面では、やはり相手の感情を傷つけぬよう、「詫び+依頼」の表現がふさわしいのではないだろうか。「すみませんが・・・」「恐れ入りますが・・・」。他者の手を煩わす恐れのある場合は、注意を要する。実はこの語用論は、日本語教育上きわめて重要で、日本人とのコミュニケーションを円滑に保つためのストラテジーである。

こんなことを考えていた矢先、留学生が研究室にやって来た。「先生お忙しいところすみませんが、奨学金の自己推薦文を書いたのですが、一度見ていただけませんか。」「どれどれ」、筆者は快諾したが、「よろしかったら・・・」と来られたら、「今日はちょっと」と断っていたかもしれない。



京都外国語大学 日本語学科教授 中川良雄



Min Svenska Dagbok

～みほのスウェーデン日記～ # 6 移民のための語学学校

Hej! こんにちは!

こちらは9月になってから、朝はマイナス2度、昼でも10度以下は普通になってきました。私にとって初めての秋です。あのとっても過ごしやすかった夏から一転し、もうマイナスの世界へ足を踏み入れてしまいました…。

久しぶりの記事ということで、何を書こうか迷ったのですが、今回は移民・外国人のための学校について少し書きたいと思います。

以前説明させていただきましたが、私は SFI という移民・外国人用の無料の語学学校へ通っていました。SFI では、日常会話からスウェーデンの文化、社会や政治のことまで、スウェーデン語を通じていろいろなことを学びます。

この学校を卒業するには、ナショナルテストとよばれるテストに合格する必要があります。二ヶ月の夏休み後、私はこの最後のナショナルテストに合格し、SFI を卒業することができたので、次の学校へ進むことになりました。



SFI を卒業すると、生徒はもっとスウェーデン語の勉強を続けるのか、もしくは仕事をするのかの進路選択をします。(その際、進路相談のような先生との面談があります。自分にあった進路や手段を教えてくれる先生で、この先生に許可をもらわないと次の学校のテストが受けられないしくみになっています。) スウェーデンに来ている移民・外国人の中には、母国で教育を全くしてこなかった人も多くいるので、横の表のように、進学したい人には、小中学校レベルの学校(Grundläggande)に行くか、高校レベルの学校(Gymnasium)に行くか、2つの選択肢があります。

私は高校で取得した単位をこちらのものに変換してもらったのですが、変換できたのは、数学、日本語、社会、体育などでした。(英語はどの学校であっても日本人の場合変換されないことが多いそうです…。) SFI 以降は、英語や数学などもスウェーデン語と同時に選択し学ぶことが可能です。

Gymnasium になると、私たち外国人以外にスウェーデン人も在籍しています。ほとんどの人がもう一度大学へ行くためにここへ通っているようです。私の彼も以前この学校へ通っていました。彼のクラスには外国人も多かったようですが、外国人の彼らにとってここでの勉強はとても大変です。特に母国で教育を受けてきていないと、ここで数学や化学、生物や社会などを進学希望の学部に合わせて受講しなければならず、その知識云々の前にまずそれぞれの科目で出てくるスウェーデン語を学ばなければなりません。難しいコースを取れば取るほど、一度で合格することは難しく、挫折する人も少なくないそうです。

こういった理由から、特に大人の移民・外国人にとっては大学を卒業していい仕事を得るまでに本当に長い年月がかかります。SFI からスタートし、10年たってようやく大学を卒業したなんて話も珍しくありません。しかし、これらの教育(大学を含む)は全て無料で受けることができます。これは誰にでも平等にチャンスがあるという点で、本当にありがたいことだと思います。

日本にもいつか SFI (Svenska för invandrare: 移民のためのスウェーデン語) ならぬ JFI なる学校が誕生する日が来るのでしょうか?

(新海美帆)



オリーブに里帰り♪



先日、元オリーブ会員の小林さんがオリーブに遊びにきてくださいました！
東京でご活躍中の小林さんに突撃インタビューしました★★（ばっち）

★自己紹介をお願いします。

皆さん、こんにちは！ 草津市生まれの小林駿（こばやし しゅん）です。オリーブには2012年6月から約1年間いました。

社会人1年目で、今は物流の会社で輸出入を手配するお仕事をしています。

走ることが好きで、今年中にフルマラソンで3時間半で走れるように頑張っています！

★オリーブでの思い出、又は学んだことはなんですか？

はじめは英語や中国語の練習ができる！とばかり考えていたんですけど、生徒さん達に教えてみると『実は自分は日本語が一番わかっていない！』ということに気づき、ちょっと落ち込んでいました。

ただ、どんなに文法や難しい言葉を知っていても、季節毎の旬の食べ物や有名なドラマや俳優さんなどを知らない生徒さん達と出会った時、自分にも勉強以外の大切なことを教えられるんじゃないかと感じました。今は文法や言葉の選び方の勉強をしながら、東京のボランティアグループでも『日本人の心をつかむ話し方！』をテーマに、オリーブで学んだことを活かして、日本の素晴らしさを教えています。

オリーブにきて半年♪

ばっちです。オリーブに入会して約半年が経ちました。私が日本語教育に興味を持ったのは、大学一年生のとき、オーストラリアの中高一貫の私立学校へ日本語教師のアシスタントとして一ヶ月間ボランティアをしたことがきっかけでした。そのときは知識もなにもなく生徒たちに教えてもらうことばかり・・・日本語っておもしろい！教

えるってたのしい！と思うようになりました。現在大学院で日々

実践と理論を学んでおります。オリーブで学んだことは、地域日本語教室は「日

本語を教える」場所だけではなく地域住民との交流の場所だということ。生徒さんたちにとって「おしゃべり」ができたり安心して色々なことを話せる居場所になってほしいなと思い日々接しています。特に、一対一のときは少しでも生徒さんにリラックスしてもらいたいのので、時々雑談もしています。「先生」として、よりも「地域住民」として、もっともっと色々な人と関わっていきたくです。出会って素晴らしい★★

（的場彩）



先月の活動(10月)

日本語教室 10/5(M), 19 (3Fにて), 26 (3回)
 まちセン運営協議会全体会 10/17 (木) (田中一)
 BNN 会議 (中止)



今月の活動予定(11月)

日本語教室 11/2(M), 9,16(3Fにて),30 (4回)
 まちセン運営協議会施設部会 11/21(木) (田中一)
 オリーブ秋の旅 11/24 (日) 大阪城、歴博

●日本語教室の(M)は定例ミーティング ●()内は参加者、または 参加予定者。敬称略



お知らせ

秋の旅 (申込締切は11月16日まで)

11月24日(日) 大阪城・博物館など (JRにて)

会員は無料 会員外は1000円

※但し、自宅～京都駅の往復は自己負担



チャンさん(ベトナム)より
 N4 合格の報告がありました
 n4 ok desu 98/180 passed

おめでとう!

参加人数 (10月)

	10/5	10/19	10/26
先生	16人	17人	16人
生徒	12人	11人	9人

会員の動き (10)

<入会>

おがわ りょうすけ
 小川 良介さん(10月26日入会)



約5年ぶりに参加させて頂きます。今は南草津に住んでいます。久しぶりにオリーブで日本語教育を通じて外国人の方たちと交流したいと思い再入会しました。またよろしく願います。

<退会> なし <賛助会員> 鈴木 百合子さん



教会でクリスマス

12月23日(月)13時～17時
 クリスマス祝会

(ゴスペルクリスマス賛美、ゲーム、キャンドルサービス、軽食あり)

12月24日(火)19時半～20時半
 Christmas Eve 礼拝

(キャンドルサービス、牧師先生からの聖書メッセージ)

場所: 守山ジーザスハウス
 (プロテスタントキリスト教会)



編集後記

偶然ですが、今月号は、懐かしい人の登場ばかりでオリーブ通信が仕上がりました。冒頭の平岡さんは、約10年、バリバリ教えてその後入会班でオリーブの運営を支えてくださったベテラン。お仕事の都合で活動には来られなくなりましたが、今もオリーブのことを考えて下さっています。そして、少しでもお役に立ちたいと、今回新しいテーマで記事を提供していただけることになりました。新海美帆さんは、期間は短かったですが、いつもエネルギーギッシュでオリーブを楽しくしようと積極的に運営に係わってくれた1人です。突然!? 海外に行ってしまうのですが、現在シリーズで原稿を送って下さっています。小林駿さんも、就職されるまでの短い期間でしたが、新しい視点や発想を持っておられ積極的に活動されていた方です。新会員としては、今月号掲載の小川さんを含め、今年に入って4名もの元会員の方々が復帰してくれたこともとてもうれしく思います。"再び会う人"には、縁を感じずにはいられません。「会う意味があつてまた会うんだ」と誰かが言っていました。どんな意味で会ったのか、これから起こることにとってもワクワク期待する今日この頃です。(こはる)